

授業概要

本講義では、今後の教育実習や教員となることを想定し、社会科・公民科教育における教材研究の活用方法について理解することを目的とする。加えて、学習指導案の作成や社会科教材の選定方法について、重要なポイントを考える。また、教材を活用した模擬授業に取り組んでもらい、①効果的な教材とは何か、②教材を取り入れた授業における課題とは何か、の2点について理解・考察を深めていくことを目指す。

尚、本講義では、担当者による講義形式の授業に加えて、受講生同士のディスカッションや発表、ミニレポートを行う。そのため、自主的に学ぶ意欲や講義への積極的な参加が求められる。

授業計画

第1回	ガイダンス：社会科・公民科教育における教材活用の意義とは？
第2回	社会科・公民科の教育方法①：社会科教材の活用方法を考える
第3回	社会科・公民科の教育方法②：各分野における教材開発のポイントの考察
第4回	社会科・公民科の教育方法③：教材を利用した学習指導案の作成
第5回	政治経済の指導法の検討①：日本の政治体制に関する教材開発の事例と討論
第6回	政治経済の指導法の検討②：日本の経済構造に関する教材開発の事例と討論
第7回	国際関係の指導法の検討①：先進国の政治経済に関する教材開発の事例と討論
第8回	国際関係の指導法の検討②：新興国・途上国の政治経済に関する教材開発の事例と討論
第9回	現代社会の指導法の検討①：未成年の政治参加に関する教材開発の事例と討論
第10回	現代社会の指導法の検討②：途上国開発に関する教材開発の事例と討論
第11回	倫理の指導法の検討①：先人の思想と今日の人間像に関する教材開発の事例と討論
第12回	倫理の指導法の検討②：現代社会の課題と倫理に関する教材開発の事例と討論
第13回	公民科教材の実践研究①：指導案の作成、グループ発表（授業の実践）、ディスカッション
第14回	公民科教材の実践研究②：指導案の作成、グループ発表（授業の実践）、ディスカッション
第15回	公民科教材の実践研究③：指導案の作成、グループ発表（授業の実践）、ディスカッション
第16回	筆記試験：講義内容のポイントを理解し、その重要性を考える。

到達目標

- ①社会科教材を活用する意義を理解する。
- ②各分野に合わせた教材の選定、教材の実践方法、そして効果的な指導案の作成方法を習得する。
- ③教師となることを踏まえて、社会科教材の効果的な活用方法と課題を考察する。

履修上の注意

受講者数に応じてグループ発表の日程を変更する可能性があることに留意してほしい。
 「社会科・公民科教育法Ⅰ」を前提に講義を進めるため、同講義を履修していることが望ましい。
 原則として遅刻・欠席は認めない。
 不必要な私語や携帯電話の使用は禁止する。

予習復習

社会で起きているニュースに関心をもち、新聞・テレビ等の情報を意識すること。
 講義中にミニレポートを複数回行うため、配布資料の内容について復習すること。
 講義内でのグループ発表や学習指導案作成に向けて、十分な調査・事前準備を行うこと。

評価方法

筆記試験（40%）、グループ発表（40%）、ミニレポートを含む講義への参加・貢献度（20%）

テキスト

教科書：特に指定なし（講義の際に、毎回プリントを配布する）
 参考書：山崎広明[2010]『もういちど読む山川政治経済』山川出版社
 小寺聡[2011]『もういちど読む山川倫理』山川出版社

※その他、参考文献等を適時紹介する。